

公益社団法人愛知県医師会 第7回(定例)理事会議事録

開催日時：平成25年 5月30日(木) 午後2時30分～午後4時25分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤 宣 夫 横井 隆

理事／稲坂 博 可世木成明 市川 朝 洋 吉田 貴 伊藤 健 一

城 義 政 加藤 雅 通 大輪 芳 裕 西山 朗 檜尾 富 二

樋口 俊 寛 伊藤 富 士 子 瀨 瀨 雅 明 細 川 秀 一

監事／加藤 茂 丹羽 巽 岩瀬 敬 紀

代議員会副議長／大野 和 美

欠席者

理事／松尾 清 一

代議員会議長／杉田 洋 一

議事録作成者 大嶋 卓

※細川理事が遅刻の為、承認事項1～承認事項15については、22名にて審議した。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者22名(うち理事18名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

議 事

一承認事項一

1. 庶務関係事項について

(1) 朝日健やかセミナー〔9/21(土)〕(愛知県内科医会・朝日新聞社・株式会社明治 共催)の共催等について

市川理事より説明があり、審議の結果、共催及び柵木会長の挨拶について承認された。

なお、愛知医報へのセミナー告知掲載及び会員案内の宛名シール発行の依頼については、承認されなかった為、お断りすることとした。

- (2) 産科医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について
市川理事より説明があり、審議の結果、大嶋勉先生(一宮市立市民病院 副院長)を推薦することが承認された。
2. 平成 25 年度救急医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について
稲坂理事より説明があり、審議の結果、長屋孝美先生(豊橋市医師会)を推薦することが承認された。
3. 子育て支援フォーラム in 愛知〔9/7(土)〕開催について
(日本医師会、SBI子ども希望財団、愛知県医師会主催：9階大講堂)
可世木理事より説明があり、承認された。
4. 健康教育委員会委員の変更について
吉田理事より説明があり、審議の結果、愛知県健康福祉部の委員を、稲葉明徳主幹から奥澤誠子主幹への変更について承認された。
5. 第 3 回地域医療再生に関する多職種連携協議会〔6/18(火)〕開催について
(愛知県医師会主催：5階医師連盟会議室)
伊藤(健)理事より説明があり、承認された。
6. 白色申告における収支内訳書の記載資料について
加藤理事より、資料を希望する会員の減少に伴い、印刷費の削減を兼ね、今年度より業者に依頼せず本会事務局にて作成するとの説明があり、承認された。
7. 日本医師会認定産業医研修会〔平成 25 年 10 月～平成 26 年 3 月分〕について
西山理事より説明があり、平成 25 年 10 月～平成 26 年 3 月分の開催日程について承認された。
8. 愛知県介護支援専門員支援会議委員の推薦について
樋口理事より説明があり、社会福祉専門委員会の伊藤光保委員の推薦が承認された。
9. 各種委員会・部会について
A) 精度管理委員会〔7/5(金)〕開催について
榎尾理事より説明があり、承認された。

—協議事項—

1 0. 平成 25 年度第 1 回都道府県医師会長協議会〔7/23(火)〕への協議議題について (日本医師会主催：日本医師会館)

柵木会長より、山本副会長に会長代理としてご出席いただき、質問事項などがあればご発言いただくので、次回理事会までにご意見があれば申し出ていただきたいとの説明があり、継続審議となった。

1 1. 会費の減免申請について

可世木理事より、名古屋市医師会から会員の病気療養に伴う会費の減免申請があったことが説明され、審議の結果、適切なものであり、原案のとおり会費を減免することが承認された。

1 2. 入会金の徴収猶予申請について

可世木理事より、名古屋市医師会から病院長交代に伴う入会金の徴収猶予申請があったことが説明され、審議の結果、適切なものであり、原案のとおり徴収猶予することが承認された。

1 3. 平成 2 4 年度一般会計および各特別会計決算について

可世木理事より説明があり、審議の結果、原案のとおり 6 月 30 日(日)開催の第 169 回(定例)代議員会に上程することが承認された。

1 4. 「連携ネットワークからみたイエローカードシステムの評価に関する研究」に係る倫理審査申請について

伊藤(健)理事より、愛医総研が実施する「連携ネットワークからみたイエローカードシステムの評価に関する研究」の倫理審査申請について説明があり、審議の結果、倫理委員会で審査することが承認された。

1 5. その他

- ・環境衛生委員会予防接種広域化に関するプロジェクト〔6/10(月)〕開催について
 瀨瀬理事より説明があり、承認された。

- ・第 129 回日本医師会定例代議員会の代表質問について

大野副議長より、代表質問「日本医学会公益法人化に関する諸問題について」の内容について説明がなされ、出席者から文言の訂正や文章構成に関する意見が出された。

柵木会長より、6 月 5 日(水)の中部医師会連合日医代議員協議会で各県から出てくる意見と、6 月 13 日(木)に日本医師会の定款・諸規程検討委員会で日本医学会の法人化に関する最新の状況が示されると思われるので、その状況も踏まえ、改

めて質問の文言等について検討いただきたいとの説明がなされた。

—報告事項—

1. 日医医療政策会議〔5/22(水)〕について
(日本医師会主催：日本医師会館)
第6回(定例)理事会〔5月23日(木)〕にて報告済である。
2. 東海北陸地方社会保険医療協議会愛知部会〔5/27(月)〕について
(東海北陸厚生局主催：東海北陸厚生局)
柵木会長より、新規指定医療機関について資料により報告された。
その中で、不動産会社が一般財団法人を設立し、その法人が医療機関を立ち上げて経営するという形を取っている新規指定医療機関について、県には簡単に許可を出さない様にし、出来れば医療法人にて設立いただくよう指導するように1年前から要望していたが、要請していた担当官が異動して上手く情報伝達がされずに、保健所の認可が下りてしまったことについて、県も問題であることは認識していただいているとの報告がなされた。
3. 地域医療連携のための有識者会議〔5/24(金)〕について
柵木会長より、平成24年度国の補正予算に係る新たな地域医療再生計画の策定について協議されたことが報告された。
4. 愛知県健康推進学校書類審査会〔5/15(水)〕について
伊藤副会長より、健康推進学校表彰選出について、文部科学省から表彰されるためには、まず愛知県内で3回くらい優良校に入っている必要があり、その中から優先的に選んでいる実情であることが報告された。
5. 愛知県学校保健会役員会並びに総会〔5/22(水)〕について
伊藤副会長より、平成24年度事業報告及び決算報告、平成25年役員改選案について承認されたことが報告された。また平成25年度の事業計画の中で、強く実施を望んだ愛知県学校感染症のサーベイランスに関して、県の教育委員会は厚生労働省が実施するような指示を出さない限りは実施しないと明確にしたので、今回の事業計画には含まれていないことが併せて報告された。
6. NPO法人日本救急蘇生普及協会 平成24年度通常総会・理事会〔5/19(日)〕について
稲坂理事より、平成24年度収支決算報告と監査、次いで平成25年度事業計画と収支予算案が理事会、総会ともに上程され承認されたことが報告された。

また事業報告の中で受講者数が平成 23 年度 3,902 名から 8,872 名に増加したことについて、愛知県で約 5,000 人の小中学生に対して心肺蘇生法の講習会を行なった為であることが併せて報告された。

7. 中部国際空港緊急計画連絡協議会「訓練部会」〔5/22(水)〕について

稲坂理事より、平成 25 年度「中部国際空港消火救難・救急医療活動総合訓練」の概要について説明があり、今回の訓練では、合同調整所から事故応急対策本部への情報伝達方法として、タブレット端末を利用する予定であることが報告された。なお、当日は稲坂理事欠席の為、救急委員会北川副委員長に出席いただいたことも併せて報告された。

8. 日医代議員と本会役員との合同協議会〔5/23(木)〕について

市川理事より、6月23日(日)に開催される第129回日本医師会定例代議員会へ提出する中部ブロックの代表質問について、6月5日(水)に開催される中部医師会連合日医代議員協議会への内容等に向けて協議したことが報告された。なお、代表質問については、「日本医学会の法人化」について、大野副議長よりご質問いただく予定であるが、柵木会長より、質問内容について後ほど協議いたしたいとの発言があった。

9. 第2回地域医療再生に関する多職種連携協議会〔5/21(火)〕について

伊藤(健)理事より、イエローカードシステムの試行に向け、情報伝達・共有の流れなどの最終的な確認作業を行ったことが報告された。その中で各職能団体より試行運用期間、対象地区、対象利用者の選択など、幾つかの疑義が出たため、再調整をした上で各地域による試験的運用を開始する予定であること、本件の評価に関しては「連携ネットワークからみたイエローカードシステムの評価に関する研究」と題し、本会倫理委員会による審査を経た上で実施する予定であることが併せて報告された。

10. 第2回愛医総研意見交換会〔5/21(火)〕について

伊藤(健)理事より、今回は講師に名古屋大学医学部附属病院卒後臨床研修・キャリア形成支援センター副センター長・平川仁尚先生をお招きし、「大学病院キャリア支援センターから見た地域医療支援の現状と課題そして展望」をテーマに意見交換を行い、その中で若手医師を集める為にはホームページの充実が必要であること、名古屋大学の「地域医療支援センター」の名称について、国が定めた県全体の人事を行なうセンターと名称が同一であり、他大学に誤解を与えかねない表現であることについて発言したことが報告された。

11. 一般社団法人愛知県労災指定医協会 第1回定時総会〔5/22(水)〕について

城理事より、平成 24 年度会務報告、平成 24 年度財務諸表の承認、次いで平成 25

年度事業計画と収支予算案、定款施行細則及び理事及び監事の選任について承認されたことが報告された。

1 2. 治験審査会〔5/17(金)〕について

大輪理事より、初回審査1件(クローン病)、継続審査12件(統合失調症7件(小児2件含む)、変形性膝関節症・潰瘍性大腸炎・大うつ病・1型糖尿病・2型糖尿病各1件)については、すべて承認されたことが報告された。

なお、新規案件を実施する医療機関に対して、約700万円、県医師会には60万円の費用が支払われることが併せて報告された。

1 3. 医療従事者のための患者対応に関する講演会〔5/18(土)〕について

大輪理事より、講師に明治学院大学心理学部心理学科教授の杉山恵理子先生をお招きし、「患者対応の基礎について～心理学からのアプローチ～」をテーマに講演を行い、講師・役員を含め432名の参加があったことが報告された。

1 4. 産業医研修会〔5/22(水)〕について

西山理事より、アイシン・エイ・ダブリュ(株)にて実地研修を開催し、20名の出席があったことが報告された。

1 5. 日医環境保健委員会〔5/23(木)〕について

瀬瀬理事より、低線量放射線ならびに地球温暖化による健康影響に係るリスクコミュニケーションに関するアンケートを早々に収集することになり、無作為抽出で1,500件の方に依頼し、結果を取りまとめ報告書に入れることになったこと、甲状腺のう胞について、環境省より、福島で子どものエコー検査を実施したところ、40%位から発見されたが、他の調査(青森県弘前市、山梨県甲府市、長崎県長崎市)でも40%甲状腺のう胞が発見されていることが報告された。

1 6. 県下医師会予防接種事業担当理事連絡協議会(予防接種広域化事業に関する説明会〔5/27(月)〕について

瀬瀬理事より、来年4月より実施予定の予防接種広域化について、現時点での方法について説明し、意見を求めたが、広域予防接種連絡票や請求・支払い方法について特に反対意見はなかったが、今後の対応方法について、国保への請求や問診票についてももう少し簡素化していただきたいとの意見があったことが報告された。

柵木会長より、広域化を進めるにあたり、実際に運用が始まった後に、いかに被接種者を増加させるかが重要であるとの発言があり、瀬瀬理事より、医師会の先生のコンセンサスについては問題無いと思うが、事務手続き等が煩雑になる等の問題があるので、5月31日(金)に行政の担当者に説明を行い、そこで意見を集約させる予定であるとの回答がなされた。また、伊藤副会長より、実施にあたって

は、運営協議会的な意味合いの会を早急に策定し、現実的にどう運用させるのかをそこで決める必要があるとの補足説明がなされた。

柵木会長より、国保連合会より、地区から申請いただければ実施するとの回答を得たことに伴い、名古屋市から国保連合会に対して要請を行なうよう働きかけるので、伊藤副会長には豊田市を、市川理事には豊橋市を、瀨瀨理事には一宮市に対し、市長の名前で国保連合会に対して要望をしていただくよう働きかけをお願いするとの指示がなされた。

17. 各種委員会・部会について

A) 救急委員会小委員会(第2回)〔5/21(火)〕について

稲坂理事より、高齢者の救急医療に関して、当初在宅患者のアンケート調査も検討したが、実態の把握が至難であるので、3次病院、特養、老健等に絞りアンケート調査を行うこととし、アンケート内容、詳細なアンケート対象機関は継続審議となったことが報告された。

B) 社会福祉専門委員会〔5/21(火)〕について

樋口理事より、毎年12月に開催している保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウムに向けて、千葉県柏市の地域包括ケア体制について視察を実施すること、シンポジウムにも柏市の医師会長に講師を依頼することが決まったことが報告された。

C) 産業保健部会幹事会〔5/24(金)〕について

西山理事より、日医認定産業医研修会欠席者のペナルティについて、出席者からはペナルティは必要であろうとの意見が大勢を占めたが、急用や個々の事情もあるので、一概にペナルティを課すのはいかなものかということで、日医や他府県の状況を確認し、改めて協議することになったことが報告された。

山本副会長より、地域産業保健事業における長時間労働の面接指導に関する変更点についての説明を求められ、西山理事より、長時間労働者の対応については、昨年度までは年に1回、地域産業保健事業として面接指導を実施していたが、2回目以降のサービスを事業者等が希望する場合の受け皿が不明確であった為、なんとか対応できないかということで、地域産業保健センターの事業とは別に、企業側が申し込んできたときに、概ね今まで支払っていた金額の半額程度で、前回相談にのった産業医等にまた相談できることとなったとの回答がなされた。

18. その他

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成25年5月30日